

## 2008 建設リサイクル技術発表会・技術展示会の概要

(平成 20 年 10 月 17 日(金) 福岡国際会議場 2F 多目的ホール)

### ○講演会の概要

#### 基調講演

国土交通省 野田 勝 建設副産物企画官より、『建設リサイクル新推進計画（建設リサイクル推進計画 2008）』というテーマで、建設副産物の施策によるリサイクル率の向上についての説明と今後の方向性についての基調講演を頂いた。建設リサイクル法 H12 公布、H14 完全施行の施行により建設廃棄物の最終処分量の大幅な削減という成果を得た。今後は持続可能な社会を実現するための他の環境政策との統合的展開、関係者の意識の向上と連携強化、民間主体の創造的取組を軸とした建設リサイクル市場の育成と技術開発の推進をはかることなど、基本的な考え方から新たに設けた再資源化率等の目標値の説明を頂いた。

#### 特別講演

エコノミスト 鳥丸 聡氏（シンクタンク・バードウイング 代表）からは、『循環型社会の推進方策について -知られざるリサイクルの世界-』というテーマで、と題して、グローバル化の波が押し寄せるリサイクルの世界について、食品業界の例をはじめ、幅広くご紹介いただいた。

以下、講演資料より抜粋

『2001 年 1 月に、循環型社会形成推進基本法が完全施行された。大量生産・大量消費・大量廃棄といった 20 世紀のワンウェイ型社会から 21 世紀の循環型社会への大転換期が訪れたのである。しかしながら、産業の静脈部の動向、すなわちリサイクルの世界は、一般にはあまり知られていない。例えば、牛、豚、鳥といった畜産の枝肉を加工した後の副生物を扱う業界（レンダリング業）や、料亭、スーパー等で鮮魚をさばいた後の残渣（魚腸骨）を扱う業界、あるいは、トロ箱のリサイクル等は、日常生活に密接したリサイクルの世界であるにもかかわらず、その実態はほとんど知られていない。それらの一部は国境を越えてリサイクルシステムが形成されており、既に国内法のみでは、対処できなくなっている。グローバル化の波は、廃棄物処理・リサイクルの世界にも押し寄せているのである。』

また、循環型社会を推進するうえでは、私的な技術だけでなく、社会的な技術を開発することが望まれるが、現時点では、私的技術の進歩に社会的技術の進歩が追い付いていない状況にある。』



野田 勝 建設副産物企画官



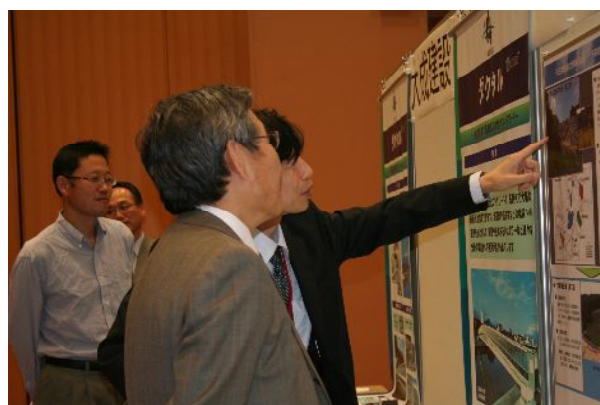
鳥丸 聡 氏

技術発表会は、下記の6例の事例報告を頂いた。

NO.	団体名	発表内容
1	宮崎県企業局	浄水汚泥の有効活用について ー環境素材としての ECO レンガ作りー
2	荒尾市役所	省エネ、省スペース型の下水汚泥濃縮技術の取組みについて ーベルト型ろ過濃縮機の開発ー
3	清水建設(株)	建設汚泥を有効利用する「バイオニュートラル工法」の開発と実用化
4	(株)法面	3N緑化工法 ー建築解体材と再生石膏を利用した法面緑化工法ー
5	(株)大林組	タイヒシヤトル工法 ー伐採材・脱水ケーキのリサイクルによる新しい緑化技術ー
6	西日本技術開発(株)社 九州電力(株) 総合研究所	地球環境にやさしいフライアッシュ(石炭灰)利用コンクリート



技術発表会



技術展示会

また、技術展示会は 29 団体の参加により下記の技術展示があった。

NO.	団体名	展示内容
1	福岡県	福岡県認定リサイクル製品
2	宮崎県企業局	浄水汚泥の有効活用について
3	荒尾市役所	省エネ、省スペース型の下水汚泥濃縮技術の取組について
4	西日本高速道路(株)九州支社 福岡技術事務所	緑のリサイクル
5	清水建設(株)	微生物の力でセメント混じりの建設汚泥を無害化する「バイオニュートラル工法」
6	(株)法面	3N緑化工法
7	若築建設(株)	山を育て、海を育てる間伐材魚礁
8	日本国土開発(株)九州支店	回転式破砕混合(ツイスター)工法
9	(株)ウッディ商会	古河エコボードについて
10	(有)ジェーハック	ウェイストウォッシングシステムによる廃棄物及び汚染土壌の資源化
11	(有)三松業務店	発泡スチロール廃材・ウレタンフォーム廃材リサイクル製品2種
12	(株)大林組	タイビシャトル工法
13	(財)産業廃棄物処理事業振興財団	有害廃棄物等の適正処理に向けて
14	大成建設(株)	長寿命化に関する技術<ダクトル(超高強度繊維補強コンクリート)>
15	(財)福岡県環境保全公社 リサイクル総合研究センター	リサイクル総合研究センターのご紹介
16	(有)名島産業建設	建設汚泥を適正処理、リサイクルする画期的な新技術
17	(株)ソイルマネジメントジャパン	無機性汚泥 100%リサイクルシステム
18	(株)九州ソイルベスト	砂に代わるリサイクル材
19	(社)地盤工学会九州支部	建設副産物および災害廃棄物の新たな利用技術
20	五洋建設(株)	建設汚泥リサイクル
21	佐賀県庁	佐賀県リサイクル製品認定制度
22	西日本技術開発(株) 九州電力(株)総合研究所	地球環境にやさしいフライアッシュ(石炭灰)利用コンクリート
23	(株)九州環境ネットワーク	廃木材の再資源化について
24	(財)日本建設情報総合センター	建設副産物情報交換システム及び建設発生土情報交換システムによる情報提供
25	建設副産物リサイクル広報推進会議	建設分野における 3R の取り組み
26	九州地方建設副産物対策連絡協議会	「九州地方建設副産物対策連絡協議会」の活動等に係る技術展示
27	前田道路(株)	排水性舗装廃材の再生利用への取り組み
28	(株)九建	移動式アスファルト・リユース・リサイクルプラント
29	日本建設技術(株)	ミラクルソル工法